

南アルプス市地域支えあい協議体

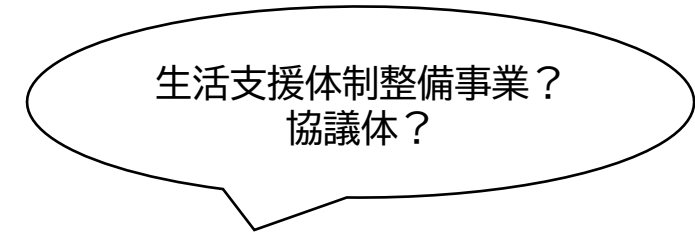
資料3



南アルプス市は平成27年4月に生活支援体制整備事業に着手
第1層生活支援コーディネーターが介護福祉課に配置されました。

令和5年5月現在

人口	71,450人
高齢化率	28.21%
第1層協議体	平成28年12月設置
第2層協議体	16か所設置(小学校区圏域)
第3層協議体	53か所設置(自治会圏域等)



第1層生活支援コーディネーター

斉藤 節子 1

市(介護福祉課・総合相談課)社協で話し合いを重ねて

これまでやってきたことと何が違うのか？

なぜ、社協が加わるのか？

なぜ、協議会でなく協議体なのか？

住民へどう伝える？

目標

厳しい時代を理解し自分事として考え、何とかしたいと手を挙げた住民とともに市も

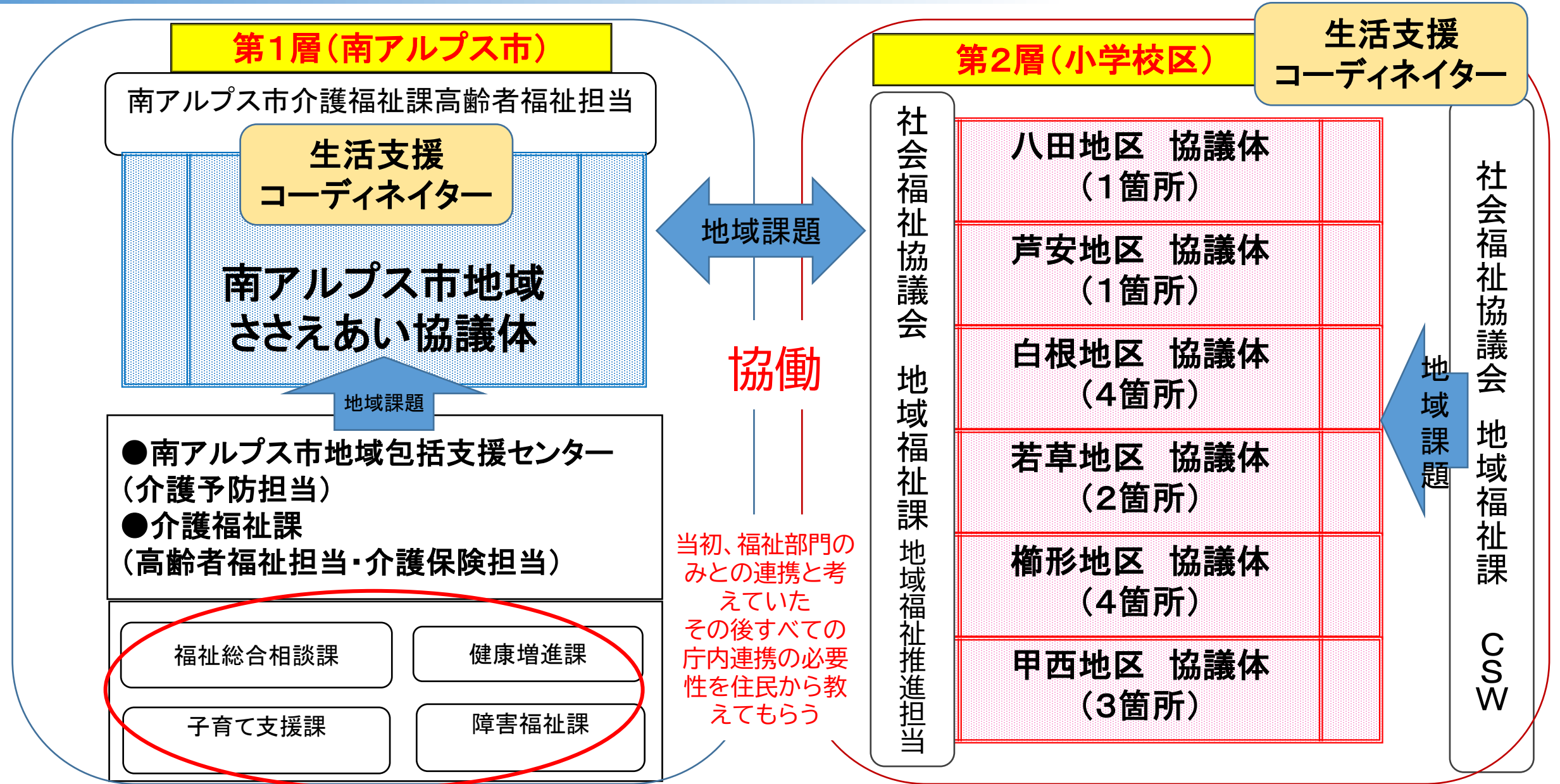
社協も力を合わせて「誰もが暮らしやすい南アルプス市」を目指す。そのための話し合いの場「協議体」を地域に根ざしていく

今思うとこの勉強会があったから続けてこれた。



南アルプス市 協議体体制図

当初は2層までしか考えていなかった



住民に伝えたいこと・・・ 5年後10年後を見据えて

- 少子高齢化・人口減少 わが町の厳しい状況 財源と担い手不足
- この問題はもう行政だけでは解決できない！もちろん行政でなければできないことは責任を持つ
- 行政サービスは公平平等が基本だが、住民の助け合いは困っていればその人に・・・必要ならばすぐに・・・即応性と柔軟性

- あなた自身が将来、この地域でどう暮らしたいか。そのために今、何ができるのかを一緒に考えていきましょう！
- それは、きっとあなたの子供世代、孫世代のためにつながっていく。

住民主体の地域づくり ここから始まった！ 第1回地域フォーラム開催(H28.8月)



南アルプス市のありのままの現状
あなたが10年後も生き生きと暮らせる南アルプス市を一緒に考えていきたい。
参加者180名の中から59名が手をあげた。

熱い気持ち冷めないうちに3回の勉強会。

すんなりできたわけじゃない！ 厳しい声もいっぱいあった
でも、どこの地区でも理解者はいた！

- 金がないから、住民に自分たちでなんとかしろ！ ってことなのか
- 世の中の流れに逆行している！ いまさら「支えあい」なんて時代遅れ
- よくわからん！ これをやってくれって言うてくれればやるよ！

- 財政が厳しいのは事実・だから住民の力が必要なんだよね。
- この時代を作ってきたのも私たち、この時代を良くしていけるのも私たちじゃないの？
- 住民主体って自分たちで考えて自分たちで決めていくこと・・・今までこんなに住民を信じてくれたことあったっけ？

住民自身の考えを聞く勉強会

協議会ではない協議体のわけ 誰をメンバーにしたいか、どんな言葉が住民を動かすか

フォーラム後、手を挙げた住民との勉強会



住民から推薦された第1層協議体メンバー
H28. 12. 8たちあげ



住民代表6名・民生委員・商工会・JA・青年会議所
老人クラブ・シルバー人材センター・介護支援専門員
その後自治会6名追加、コア会議発足

1層の当初の目標 2層協議体(小学校区圏域)の立ち上げのプロセス

2層圏域での協議体説明会開催



手を上げた方たちの勉強会



賛同者による協議体誕生



2年半かけて全地区(16地区)で2層協議体が誕生したが、具体的な話にならない。ニーズが見えない。住民の意志で第3層協議体が各地で誕生していく。あの人のために……



地域によって生まれた活動はさまざま

- ・生活支援ボランティア
- ・買い物ツアー
- ・移動販売誘致
- ・外出支援
- ・居場所
- ・見守り

でも自分から「困っている」はなかなか口に出さない傾向

包括やケアマネ・専門職の持つニーズとつながったらいいのになあ

Aさんの家族

最近、母の気力低下が心配

デイサービスに行かせたいので介護申請したいでも、本人はデイサービスに抵抗感がある

相談

↓
地域包括

まだ、デイサービスの対象者じゃないかな。でも、どこか出かけるところがあつたらいいな
〇〇地区には居場所がないんだよね

ここがつながつたらいいなあ

地域ニーズの持っていき場所ができた！

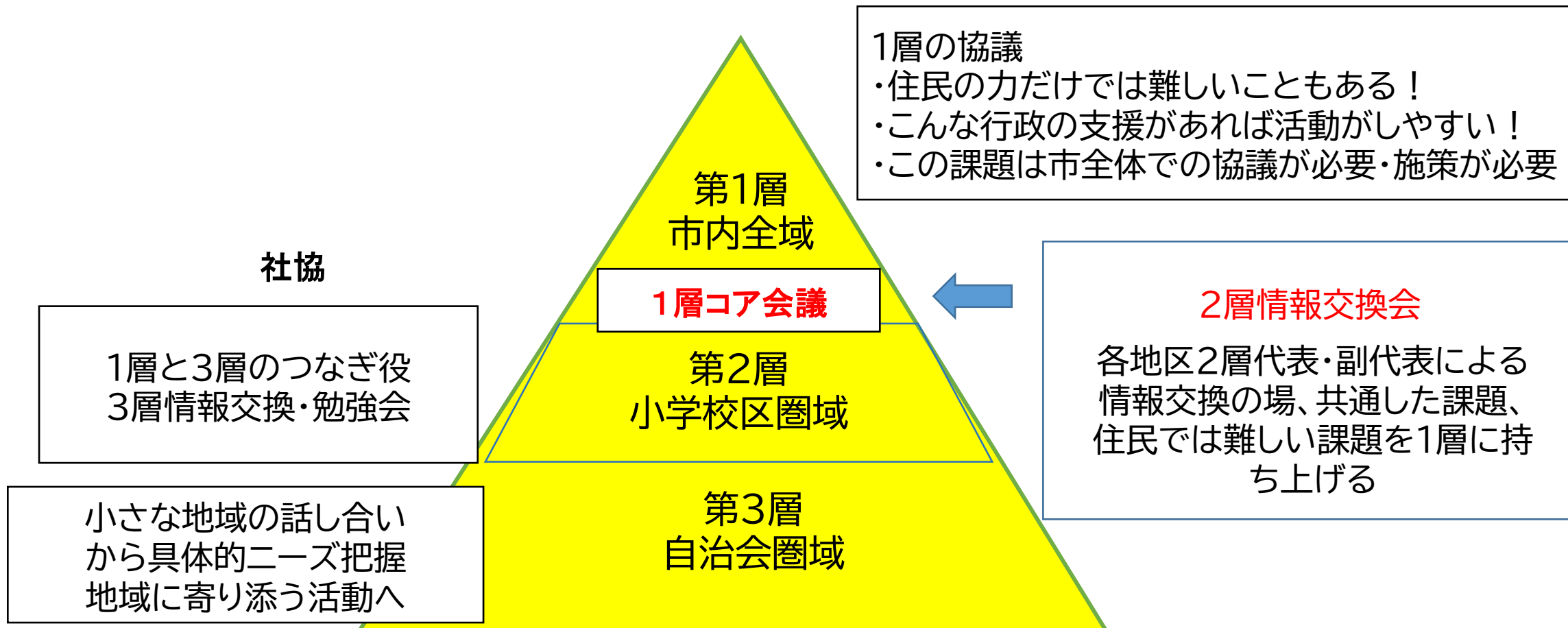
第3層協議体

うちの地区にどんなことに困っている人がいるのかな？



住民自身から生まれた3層を大切に！ (1層・2層の役割)

介護福祉課



市の役割:住民のモチベーションのために

住民の活動課題に真摯にむきあう

活動課題 (2層・3層から)	市・1層の対応
自治会との連携が難しい	毎年、自治会対象「協議体説明会」の開催
活動費がない	「第3層協議体支援交付金」の創設 (市民活動支援課との連携)
住民へ周知不足	広報特集記事 毎年新聞折り込みチラシの作成 毎年「地域支えあいフォーラム」の開催 1層協議体だより
住民だけでは解決が難しいけれど喫緊な課題	令和5年度1層の取り組みテーマ 「移動支援」 1層と2層の合同情報交換会の開催

地域の中に自分のこととして考える住民が広がっていくことが地域を変えていく！協議体自体が居場所

- 9年目の今思うこと「サービスづくりじゃなかった。地域づくり、人づくりだったなあ」

活動がひとつづつ形になる充実感は現役時代の仕事への情熱を思い出します。
地域の仲間と出会えたことも嬉しいです。
地域づくりは面白い、協議体と出会えてよかった。
今心も体も充実しています。
元気で若々しい「西野のおっちゃん」が理想です。

白根東地区の甘利さん

